平成24年2月10日

各 位

会 社 名　　大 倉 工 業 株 式 会 社
代表者氏名　　代表取締役社長　髙濵 和則
（コード番号 4221 東証第一部）
問合せ先　常務取締役ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｾﾝﾀｰ担当兼経理部長　豊田 員史
（TEL 0877-56-1111）

減損損失の計上及び業績予想の修正並びに個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成23年12月期において、減損損失の計上を行うことといたしましたのでお知らせいたします。それをも踏まえ、平成23年7月29日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、個別業績見込みと前期実績との差異について、併せてお知らせいたします。

記

１．減損損失の計上について

香川県仲多度郡まんのう町に所在する仲南工場の合成樹脂フィルム製造設備について、市場環境の変化により稼働率が著しく低下し、投下資本の回収が見込めなくなったため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行うことといたしました。

本件に伴い平成23年12月期の連結及び個別決算において、特別損失として減損損失４億２千２百万円を計上する見込みです。

２．業績予想の修正

（1）平成23年12月期連結通期業績予想数値の修正（平成23年１月１日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	８５，５００	２，６００	２，２００	１，８００	２９．４０
今回修正予想（B）	８５，７５０	２，４３０	２，１００	１，５５０	２５．３２
増減額（B－A）	２５０	△１７０	△１００	△２５０	－
増減率（%）	０．３	△６．５	△４．５	△１３．９	－
前期実績（平成２２年１２月期）	８０，０３０	２，０１５	１，６６７	１，２０５	１９．６９

（2）修正の理由

① 売上高

合成樹脂事業部門において、産業資材用フィルムが電子材料分野での在庫調整による影響を受けたため前回予想を若干下回るものの、新規材料事業部門、建材事業部門及びその他の事業部門において、販売が順調に推移し、前回予想を若干上回るため、売上高はほぼ前回予想通りとなる見込みです。

② 営業利益、経常利益及び当期純利益

営業利益及び経常利益は、合成樹脂事業部門における産業資材用フィルムの稼働率低下と新エネルギー関連事業の立ち上げ遅延、新規材料事業部門における液晶テレビ向け光学フィルムの在庫調整の影響などにより、前回予想を営業利益は１億７千万円、経常利益は１億円下回る見込みです。

当期純利益は、前回予想時には想定していなかった減損損失４億２千２百万円の計上により、前回予想を２億５千万円下回り、15 億５千万円となる見込みです。

３．個別業績見込みと前期実績との差異について

（1）平成 23 年 12 月期個別業績見込みと前期実績との差異（平成 23 年１月１日～平成 23 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
平成 22 年 12 月期実績(A)	百万円 ６０，０２２	百万円 ２３９	百万円 ４３７	百万円 ７２６	円　銭 １１．８７
平成 23 年 12 月期見込み(B)	６４，９００	６４０	７３０	９９０	１６．１７
増減額（Ｂ－Ａ）	４，８７７	４００	２９２	２６３	－
増減率（%）	８．１	１６７．８	６７．０	３６．２	－

（2）差異の理由

売上高につきましては、細やかな拡販努力を重ねた結果、前期を 48 億７千７百万円上回り、649 億円となる見込みです。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加と固定費の削減などにより、それぞれ６億４千万円、７億３千万円となる見込みです。

当期純利益は、減損損失の計上により特別損失が膨らむものの、貸倒実績率の大幅な低下に伴い貸倒引当金戻入額及び保証債務戻入額を特別利益に計上したことなどにより、前期を２億６千３百万円上回り、９億９千万円となる見込みです。

以　上

(注)本資料に記載されている業績に関する数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載された数値と異なる可能性があります。

平成24年2月10日

業績予想の修正に関する参考資料(連結)

大倉工業株式会社

平成23年12月期連結通期業績予想数値の修正
(報告セグメントごとの業績状況)

(単位:百万円、%)

項目		前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績	前期比
売上高	合成樹脂事業	51,500	51,100	△ 400	△ 0.8	49,688	2.8
	新規材料事業	20,000	20,150	150	0.8	17,638	14.2
	建材事業	9,500	9,650	150	1.6	8,327	15.9
	その他	4,500	4,850	350	7.8	4,376	10.8
	計	85,500	85,750	250	0.3	80,030	7.1
営業利益	合成樹脂事業	4,100	3,780	△ 320	△ 7.8	4,059	△ 6.9
	新規材料事業	900	840	△ 60	△ 6.7	700	20.0
	建材事業	△ 850	△ 850	0	―	△ 1,416	―
	その他	200	270	70	35.0	218	23.9
	調整額(注)	△ 1,750	△ 1,610	140	―	△ 1,545	―
	計	2,600	2,430	△ 170	△ 6.5	2,015	20.6
経常利益		2,200	2,100	△ 100	△ 4.5	1,667	26.0
当期純利益		1,800	1,550	△ 250	△ 13.9	1,205	28.6

(注)調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

以 上